

地域の守りかた

この一年、風力発電のことをよく勉強してきました。というのは、僕たちの住む愛媛県西予市明浜町のほとんど、全ての子どもたちが通う小中学校から見える、すぐ上の山に、風力発電のための巨大風車が立ち並ぶ計画があるからです。

イメージはきわめてクリーンな発電方法です。計画が知らされた当初は、建設予定地はまた違ったものだったのですが、自分たちの地域づくりと共存する道はないだろうか、期待を寄せてもいました。けれど今は、そんな道はないと確信し、どうにか撤退させたい。

再生可能エネルギーの普及が社会全体で望まれているのは承知しています。異論なく、むしろ賛成の立場です。けれどこのタイプの、企業参入による大型風力発電開発はデメリットばかりで、普及される価値すらないと分かってきました。具体的に、次の5つの問題にまとめられそうです。

1. 「低周波音」の問題

聞き慣れない病名かもしれませんが、「低周波音症候群」、いわゆる風車病と呼ばれる、さまざまな自律神経失調症状を引き起こす、非常に辛い病気があります。低周波音自体は身の回りにありふれたものですが、巨大風車から発せられる特有の低周波空気振動があり、全国の風車病被害の現場では

この特徴的な低周波音が聴え入りされます。僕も実際に被害にあっている人と面会したことで問題意識が高まりました。

2. 「環境破壊」の問題

羽根の先端まで120~150mもある巨大風車建設のためには、森林を伐採し、地盤を削ります。工事用道路も建設しなければなりません。山の生態系の破壊は流域一体にも影響を及ぼし、海の環境も変化します。漁業被害も出るのです。

3. 「地域の衰退」という問題

上記のような健康被害や環境破壊といった公害問題が発生したら、もうUターンもIターンも、移住者は期待できません。被害者は移住すら真剣に検討します。(実は個人的にある被害者の移住のお手伝いをしているところです。)

こんなことが過疎の田舎で起きてしまったら、地域を維持する素地すらなくなってしまう。そんな不安に駆られます。

4. “ベースロード電源にならない”という問題

化石燃料や温室効果ガスとしてのCO₂削減、そして脱原発への機運は、もはや社会問題です。しかし火力発電や原子力発電の代替には決してならないのです。むしろ依存度を深める可能性すらあります。CO₂吸収源である森林をこれだけめっちゃくちゃにして、フリ合いが取れるのか試算しているところです。

そもそも1基あたりの発電力は、火力、原子力と比べて2000～3000倍もの開きがあります。さらに、文字どおり風まかせの不安定な電力のため、発電量の増減を火力で補正する必要があります。風車の稼働を維持するためにも外部電力を要するため、風車の数を増やせば増やすほど、こういった安定的な電力が必要になるわけです。

ら、“四国で使われない？”という問題

これだけのリスクを被って、自分たちの地域で発電された電気は、固定価格買取制度に基づいて四国電力が買い取り再分配されます。つまり自分たちで使えるかどうか、分からないのです。それは“カリカ、電気が不足しがちな大都市を抱え込む他所の電力会社へ調整力として送電される仕組み。この環境は、いったい誰のものなのでしょう。

風力発電と向き合うことで、それに伴って社会背景までいろいろ見えてきました。僕たちは自分たちの生活環境を守ることに対して、素直に、もっと自信と勇気を持って臨んでいこうと気づきます。現在は明浜で子育てをするママ友たちと一緒に、こういった知見を伝える勉強会を小規模ながらも開いてきています。大学の先生か政治家にでもなったつもりで“オトシドコロ”を探りはじめた男性たちと違って、女小学生たちは本当に頼もしい。

また、僕たちのところだけでなく、愛媛県の南予地方は、明らかに“狙われている”ようです。現在分かっているだけでも、100基を超える巨大風車の建設計画があります。今後はさらに増えるでしょう。一部はすでに稼働しています。

そのため、同じ問題意識を持つ他地域の仲間とともに、『えひめ風車NET』という団体を設立し、活動してきました。問題点を整理して発信するだけでなく、風力発電と向き合うことで見えてきた田舎の地域づくりが歩むべき方向性について政策提言もおこなっていきこう！みんな精力的です。8月に始まったばかりですが、子育てから生産活動に至るまでこの連携からも大いに刺激を受けているところです。

相手は巨大資本、豆粒脳と行動力では対抗したいところですが、稼働力を維持するにはどうしても費用がかかります。当面の課題に向けて、すでに

各メンバーが相当持ち出している状況で、もしよろしければ、『えひめ風車NET』の活動支援にもご協力いただければ幸いです。

(うえはら ゆうき)



〒797-0113

愛媛県西予市明浜町狩浜 3-1404

電話： 0894-89-5050 (FAX 兼用)

web: <http://doratomo.jp/~nancha/>

e-mail: nancha@sheep.dog.cx